

あ

青葉茂れる
富士にも勝る
若狭富士

え

笑みこぼる
山浜湾に
天下の奇勝
蘇洞門あり
大門小門は
一幅の絵

き

君知るや
鯖江の眼鏡
見える世界に
深き増す
光る枝

い

今一度
果の良き
神社仏閣と
風光明媚は日本一
眺めてみよう

お

お箸なら
伝統色づく
天下とは
このことを言う
若狭塗り

く

苦くとも
我が意をまげぬ
幕末の志士
梅田雲次
若狭人

う

海の幸
山の幸
味やい豊かな
福井県
来て見てごらん
わかるから

か

勝山は凄いとこ
楽しく遊ぶ
恐竜王国

け

気比の松原
品あり格あり
風情あり
松原ゆかし
日本三大松原

こ

ご当地グルメの
ソースカツ
ひと味違うよ
本場もの

す

素晴らしい
暖地性植物群落
蒼島は
見事な国の天然記念物

た

武生には
秋を彩る
菊人形
時代絵巻は面白きかな

さ

三丁町 三味の色香と
文化の香り
昔の風情が
残る町

せ

戦乱の面影残す
お城跡
かの忠勝の
小浜城址

ち

ちよつと寄り道
エンゼルライン
天使が微笑む
若狭湾

し

常高院
お市の才に生き写し
小浜を愛し手を合やす

そ

空の蒼さが
ひときり光る
景勝
越前松島ここにあり

つ

ツルは千年 カメは万年
空印寺
八百比丘尼は 八〇〇年

て

伝統文化が盛り沢山
海のある奈良
小浜の雅

に

日本の名城 天守閣
花びら舞に散る丸岡城に
兵どもが夢の跡

の

のどごしに
ぴりりと辛いおろしそば
郷土自慢 天下第一品
長春食

と

東尋坊
荒波吠える日本海
怖い坊主が
出てくるぞ

ぬ

主の子も
我が身を捨てて
守った網女
御年やずか 十四歳

は

華やかで
気品漂う 足羽山
春は桜で 六月あじさい

な

なせばなる
医学の道の先覚者
杉田玄白
日本の夜明け

ね

願わしい
長い険しい歴史あり
殺生戒む 放生祭

ひ

百人一首に詠まれたる
かの有名な「沖の石」
小浜の海に
鎮座します

ふ

冬の味覚の王様は
越前かにと 若狭ふぐ
これ食べずして
福井を語れず

ま

不徳寺 国分寺
明通寺に神宮寺
お寺なら 数多で米る
若狭小浜

め

名物に旨いものあり
若狭かれい
皇室献上これぞ納得

へ

平安時代の紫式部
源氏物語の礎は
武生で学んだ新たな文化

み

三才五湖
淡水塩水入りまじり
五色の色分け
まことにめでたし

も

燃えるよに
咲き乱れたる つつじなら
白山望む 西山公園

ほ

ホタル恋ひ
深山に仙の道あり 永平寺
我れここに 心も染う

む

昔から
健康美人をつくるお湯
福井良いドンちから温泉

や

和らかに 白砂きらめく
水晶浜
魅力あふれる
夕日と星空

ゆ

湧水名水ここにあり
冷めたくて瓜が割れたと
言うけれど
西瓜も割れた瓜割の滝

り

りりしくて
清楚なけたみさ
美しさ
県民の花 越前水仙

ろ

朗々と清流流れる
宿場町
和歌にも詠まれた
熊川宿

よ

良女
与作も好きなおにきりは
味良しつや良し香り良し
福井生まれの「いちほまれ」

る

瑠璃も珊瑚もかなわない
塩うに地酒 若狭牛
旨さが光る 星七つ

わ

若狭和紙
和紙人形に姿変え
お水送りで 春を告げ

ら

らっ腕で
明治維新の立役者
由利公正なくして
日本は語れず

れ

歴史あり
若狭から京へと続く
鯖街道
「京は遠ても 十八里」